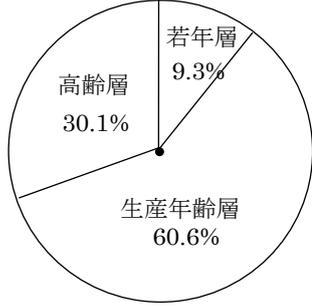


自治会の名称：  <h1 style="margin: 0;">佐生自治会</h1>	項目	H27/4 月現在	H9/4/30 現在
	世帯数：	145 戸	127 戸
	人 口：	312 人	375 人
自治会長名： 松本 馨		原稿記載者： 清水 重美 連絡電話番号： 42-4595	
自治会発足年月日： 明治 27 年 3 月 14 日			
自治会の歴史 佐生は能登川地区の東に位置し、織山の北東端、佐生山の北裾に位置しています。 佐生の西の五個荘地区に湧出する伏流水を主水源とし、琵琶湖へとそそぐ瓜生川の最も上流域にあたります。 自治会行政は明治 27 年 3 月 14 日 大字佐生の 36 名が署名捺印した「大字佐生統治規約」により発足、その後 2 回の大きな改正を経て現在に至っています。 行政区は佐生本村と鍛冶屋村の一部に、昭和 50 年 登り道地区が編入し、自治会内を 1～14 組に分けています。(9～14 組はアパート) 活動拠点は「佐生草の根ハウス」です。(昭和 62 年 3 月 廿日講の地所に建設された。)			
自治会の特徴 毎年恒例の区民レクリエーション大会を 5 月の中旬に開催します。 午前、ふれあい運動公園でグランドゴルフをし、午後から草の根ハウスで自治会祭りをを行います。模擬店では、焼きそばやたこ焼き、飲み物等が販売され、会食をしながらグランドゴルフの成績発表や演芸ショー・ビンゴゲームを楽しみます。豪華賞品も用意され、子供からお年寄りまでが一同に会し楽しい一日を過ごします。		人口構成図 	
			
			
自治会の宝物 地藏盆は、8 月 23 日～24 日頃、浄土寺境内、旧説教所、登り道の三か所で行われます。 ・浄土寺境内の地藏盆は、ボンチョウと呼ばれる中学 1 年生の少年を中心に子どもたちだけで行い、佐生本村の住民がお参りに来る。 境内にある地藏尊は平安時代中ごろの恵心僧都の作と伝えられ、大事に祀られています。(近江神崎郡志稿より) ・説教所の地藏盆は鍛冶屋集落の住民が、登り道の地藏盆は新興住宅の住民が、それぞれに行っています。(能登川地区民俗調査報告Ⅱより)			
自治会の将来 佐生には、古くから伝わる歴史やしきたり・風習があります。また自治会としての歴史もあります。それらを大切にして将来につなげていけたら良いと思っています。 人口の減少、高齢化、役員の後継者難といった問題がありますが、住民相互のふれあいを大切に、助け合いの精神で、明るくいきいきとした自治会を目指します。			